



Japan Chain Stores Association
JCSA 日本チェーンストア協会

TORANOMON-NN-BUILD-11F, 1-21-17 TORANOMON, MINATO-KU, TOKYO, 105-0001 JAPAN.
PHONE: (03) 5251-4600 FAX: (03) 5251-4601

令和5年 年頭所感

日本チェーンストア協会
会長 三枝 富博



新年あけましておめでとうございます。令和5年の年頭にあたりまして、ご挨拶を申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症に罹患されている方々、その環境変化によって困難に直面されている皆さまにお見舞いを申し上げます。会員各社は、地域に必要な不可欠な生活を支えるライフラインとして、徐々に緩和されつつある行動規制に順応し、安全安心を旗幟に日々営業を続けております。改めて、お取引先さまをはじめ、ご尽力いただいているすべての皆さまに感謝申し上げます。

昨年2月、ロシアによるウクライナ侵攻に衝撃を受けるとともに全世界に緊張が走りました。いまま続く戦禍を終わらせ、一刻も早く平和が訪れることを切に願っております。

この侵攻によって、エネルギー危機、食料危機が顕在化し、先行き見通しに深刻な影を落としました。さらに、石油、原材料価格の高騰による世界中でのインフレ傾向、想定を超えた為替変動は、事業環境を激変させました。かつては考えられなかった危機が次々と起きる状況をどう捉えるべきか。単に事業の継続、企業の存続のみならず、大きな転換点に立たされていると認識しております。

数多ある当協会を取り巻く課題の中から、主に5テーマについて、所感の一端を述べさせていただきます。

まず、物価高の問題です。物価高による家計負担は、政府による物価対策が講じられたとしても、昨年より重くなる見通しであり、防衛費増額の財源確保にむけた増税議論が活発化、同時進行している状況下では、生活者心理へのプラス作用は望めません。政府の強いリーダーシップにより、今後の生活をどう維持し、

どのような将来像を描くのか、消費マインドに強い影響を及ぼすことを念頭に、不安を和らげ、心理的安心感を確保しながら好循環につながる施策を強力に進めていただくようお願いいたします。

エネルギーの高騰は、企業経営および日々店舗をご利用いただくお客さま、生活者の皆さまの暮らしに多大な影響を与えています。電気料金の値上げは、小売業界にとどまらず産業界全体、生活者の日常生活に大きな打撃となっており、極めて悩ましい問題です。現在、電気料金・都市ガス料金等の負担軽減を柱にした総合経済対策の効果が確実に得られるよう要望しているところですが、それでも電気料金値上げが回避できない場合は、期間を明示した電気料金・ガス料金等の消費税減税の実施を要請してまいりたいと考えております。

本年10月に開始予定のインボイス制度について、事業者にかかる負荷の大きさも相まって、開始後、混乱や軋轢が生じないか懸念が残ります。円滑な導入を迎えるためには、負担軽減措置は事業規模で線引きするのではなく、等しく講じていただきたいこと、B2B取引の現況に鑑み、生産・流通の各段階で全額仕入控除が確保されるよう引き続き働きかけを行ってまいります。

人手不足の解消は切実な課題です。少子高齢化による人口減少、生産年齢人口はどんどん減少し、ビジネスモデルや事業構造の転換が迫られることとなります。一方、社会インフラである小売業が、各地域で役割を果たすためにヒューマンパワーは不可欠であります。現在、外国人材の受け入れに関して、政府で特定技能制度の改定議論が行われており、その行方を注視しながらスーパーマーケットを会員とする4団体連携でスーパーマーケット業の業種認定にむけた取り組みを進めてまいります。また、いわゆる年収の壁により、103万円、106万円近傍で就業調整を余儀なくされる問題も、雇用と多様な働き方を確保する観点から、当面の打開策につながる意見具申を行ってまいります。

持続可能な社会にむけて、食品ロス削減や物流課題への対応はサプライチェーンの全体最適をめざして取り組むとともに、なによりもお客さまを中心に据えた施策であることが持続可能を手にする要諦であることに一点の曇りもありません。商慣習見直し等の指摘を受けるまでもなく、その時代に受け容れられる解を見出すのは、一瀉千里を彷彿とさせる規制ではなく、当事者同士の是々非々かつ真摯な議論に他ならないと考えております。

皆さまには、本年も変わらぬご支援ご協力を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げますとともに、皆さまの益々のご健勝とご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

以上